

野木小同窓会報

第 34 号  
令和 6 年 3 月  
野木小学校同窓会編集部



宮川 孝 三  
同窓会会長(堤)  
第61会卒(昭和45年)

ご挨拶

野木地区民の皆様におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

今年度は元旦に能登半島で地震がありました。被害に

日頃より野木小学校同窓会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

あわれた方々に心からお悔やみ申し上げます。一日も早い復興と穏やかな日々が訪れることを心から願っています。

当会報につきましては昭和六十年より今年度三十四号を発行することになりました。

コロナの影響も多少の制限はありますが、元の日常に戻せるように各種行事やイベントも始まって来ております。

長年、発行を続けることが出来ましたが、ご多忙のなか快く寄稿を引き受けて下さいました、会員の皆様方、旧職員の皆様のおかげ

秋の観光シーズンには観光客、観光バスもかなり増えています。

但し、円安などの影響により生活用品価格の値上げが続いており、我々庶民も影響を受けております。

今年度も「野木地区民総合体育大会・小学生の部」が開催されました。

精一杯、練習に励み、その成果を存分に発揮して最後まで諦めずに全力を尽くして頑張っていた姿はとて誇らしく、互いに協力しあう姿を見ることができ、大変うれしく思いました。

来年度は一般の部も開催することが出来るようになると思っております。

これからも同窓会として会員相互の融和と協調をはかり、母校のために何をなすべきか考えながら活動を進めていきたいと思っております。

最後に、皆様方の益々のご活躍とご健勝、ご多幸を祈念申し上げます、挨拶いたします。



野木小学校校長 三宅 勝

ご挨拶

校長室の金庫に眠っている学校沿革誌を紐解くと、第五代の窪田重治校長先生在任時である大正七年一月一日付で「校章及び校旗ヲ制定ス」との記述があり、校章の意味について達筆で次のように記されています。「至誠奉公 進取剛健ノ氣風ヲ養ハム為メ 八咫鏡形ノ外劃(カク)ニ旭日ヲ描キ コレニ校名ヲ附シ以テ校章トス」

この文章から、校章の外側の形は三種の神器の一つである八咫鏡(やたのかがみ)をかたどっており、内側の円とそこから放射状に延びている二十四条の光線は、旭日つまり朝日を表しているということが読み取れます。何と高貴でしかも輝かしい校章なのでしょう



にも大きな転換となる年でした。日本国内では、日清、日露、第一次大戦と度重なる戦争に参加し、勝利することを通じて、列強に名を

連ね、国際的な地位を向上させることに血道をあげていた時代でした。また一方で大正デモクラシーの広まりや日本初の政党内閣の誕生など、民主主義への風潮も高まっていた頃でした。

校章に描かれている旭日の輝きは、そのような当時の国内の高揚した世相を反映しているのでしょうか。また、校章の制定にあたり、窪田校長による箴言（しんげん）として、

「至誠一貫 旭日的精神ヲ以テ万事に當ル人トナルベシ」とも記されています。「旭日的精神」とは随分力のこもった言葉ですが、朝日が天に昇っていくときのようによいよく、いかなる困難にもめげずに物事に取り組んでほしいという当時の校長の児童への願いと同時に、野木小学校もまたますます発

展していったってほしいというメッセージが込められているのだと思います。

時代は流れて、昭和四十二年に制定された校歌には「青空に太陽もえ」「心にも太陽輝き」などと歌われ、平成十四年には体育館外側に「輝きのある野木の子」の看板が掲げられました。

校章も校歌も看板も野木小のシンボルとして児童や地区の皆様可愛られており、奇しくも「旭日的精神」が脈々と受け継がれていることに感慨の念を禁じ得ません。さらに今年度は同窓会より、児童玄関の軒に「若狭町立野木小学校」と金色に輝く立派な箱文字を寄贈していただきました。

過去に野木小学校に奉職された先生方および幾多の同窓生の皆様の母校に寄せた熱い想いをしっかりと受け止めつつ、野木つ子をさらに朝日のように輝かせていかなくはとの思いを強くしております。

末筆になりましたが、野

木小学校同窓会のますますの御発展および会員の皆様のお祈り申し上げます。

## 旧職員からの便り

### 『野木つ子』との思い出

（平成26年度〜令和元年度）

宮本 香奈子

い出します。

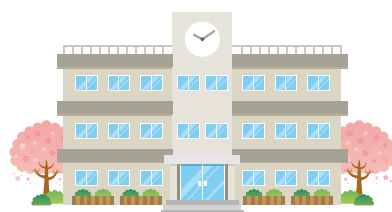
新型コロナウイルス感染症対策のため、町内の小学校が一斉臨時休業になったのが、令和二年三月三日。

ニングもあり……の、とても楽しく幸せな毎日でした。

結局その後、卒業式と終業式の二回の登校で年度を終えることとなりました。この年に異動が決まり、しっかりと別れの挨拶をさせていただくことも叶わぬまま、慌ただしく野木小学校を離れることを、とても寂しく悲しく思ったことを思

初めて受け持ったのは、三・四年生。総合的な学習の時間で育てたメロンを教室の後ろにずらつと並べて、甘い香りの中授業をしたり、大きく育った七玉もの白菜を全部調理して食べ切った

り。地域の方にお世話にな





りながら、栽培活動を楽しみました。

一・二年生を担任した時には、生活科の活動で拾ってきたカマキリの卵が教室の中で羽化してしまい、飼育ケースからどんどん脱走する子カマキリに大騒ぎしたことも、今となっては良い思い出です。

学級だよりを読み返しながら野木小学校での楽しかった日々を思い出す中に、今も野木地区のお子さんとお繋がるきっかけとなった(のだった)嬉しい(な)行事がありました。

赴任して三年目の夏。一・二年生のPTA親子行事で、私の所属する吹奏楽団のミニ演奏会をさせていただいたことがあります。プリアキユアやドラえもんなど、お子さんがよく知っている曲を揃え、楽しんでもらえるかとドキドキしながらスタートした演奏会。食い入るように見つめる一・二年生の眼差しが、とても印象的でした。指揮者体験や楽

器体験、吹奏楽の演奏に合わせてのダンスと、体全体で音を楽しみました。

このときにキラキラした目で演奏を聴いていたお子さんたちの何人かと、縁あって今年の夏に同じステージで演奏することができました。「野木っ子」たちの、小学校時代と変わらぬ姿と、かたに話しかけてくれる姿と、楽器を演奏するときの頼もしく成長した姿に、目頭が熱くなりました。

地域の方々の温かい見守りの中で、のびのびと育つかわいい「野木っ子」たち。いつかまた、私も共に過ごせるご縁があればと願っております。野木地区の皆様のご健康と、ますますのご発展をお祈り申し上げます。



旧職員からの便り

野木地区の皆様へ「感謝」

(平成26年度〜令和元年度)

森川 将治

私は以前野木小学校で六年間お勤めをさせていただきました。この機会を大変ありがたく思い、心から感謝の気持ちを伝えたく思います。在職中、野木地区の方々との出会いは、私にとつて特別なものでした。まずは、子どもたちとの出会い。「輝きのある野木の子」と一緒に過ごした時間は、私にとつてかけがえのないものでした。豊かな自然の中で、周りの方々に見守られながら成長していく様子を間近で見ることができ、その光景に感動しました。野木の子どもたちは、互いを思いやる精神が身につけていて、地域の温かさを受け継いでいることを肌で感じました。充実した日々を送らせてもらえたことに感謝しています。関わらせていただいた子どもたちのことをずっと応援しています。

また、保護者の皆様との出会い。お子さんへ愛情をたっぷり注がれて、日々学校へ送り出していただき、本当にありがとうございます。色々とご家庭に無理なお願いをしたこともあったと思いますが、教育活動へのご理解とご協力に支えられました。温かい保護者の皆様のおかげで、子どもたちが安心して学び成長できる環境を与えていただきました。さらに、地域の皆様との出会い。特に、



▲ 体育大会(3年目)



▲ 自然教室(5年目)



▲ 卒業生のタイムカプセル事業(6年目)

## 会員からの便り

### 経 験

第96回(平成17年)卒

上野木 倉谷 勇 司

私は体育主任という立場でしたので、野木地区総合体育大会では地域の皆様の協力と支援が不可欠なものでした。各競技の打ち合わせ、前日の会場設営、当日の進行など、地域の皆様が率先して担ってくださったので、大変心強く感じておりました。

野木小学校で過ごした時間は宝物です。お世話になった皆様の温かい支えと共に、大切な思い出を作ることが

できました。お世話になった地域の方々へ、感謝と深い敬意を伝えると同時に、これからも皆様の善意を胸に、自分にできることで地域に貢献できるよう努めてまいります。本当にありがとうございました。



野木小学校を卒業してから約二十年が経とうとしています。小学校の思い出を振り返るといろんな思い出がよみがえってきます。

入学し一年生になった時は大人になったような気分が嬉しかったことを覚えています。出口先生が担任であり、お母さんのような存在でした。一年生の時は、とある友人と喧嘩ばかりして迷惑をかけていたことを思い出します。喧嘩するほど仲がいいと先生に言われ、今でもその友人とは交流があり、友人、仲間の大切さを教えてもらったように思います。

二年生になると担任が桑原先生になり、友達のよう

に接してくれる先生であり、また授業中にはチョークが飛んでくるという厳しい先生でもありました。今思うと友人や後輩を気にかける大事さ、時には厳しさが必

要と教えてもらったように思います。今の学校生活では味わうことのできないチョーク飛ばしを経験することができたことも思い出の一つです(笑)。

五年生になると福尾先生が担任になり、休み時間にサッカー、キックベースなどたくさんスポーツを一緒にしたことを思い出します。先生はとてもスポーツが上手く、負けず嫌いの僕は、何とか先生に勝とうと必死でした。大人気ない先生に対して、必死に喰らいつく僕。この経験が諦めない

い大事さを教えてくれたように思います。また陸上競技大会があり、五年生の時に、百メートル走、百メートルハードル走、走り高跳びで一位をとり、すごく嬉しかったことを覚えていました。当時の教頭先生にはずっと三冠王と言われ、最初は嬉しかったのですが、途中から僕の名前覚えていいるのかなあと疑問に思う時がありました(笑)。

六年生になると森北先生が担任となり、すごく優しい先生で怒られた記憶がありません。森北先生からは厳しさはもちろん優しさの大事さを教えてもらったように思います。森北先生は大学時代にBNの稲葉さんと同級生という話を聞き、そこから先生と言えばBNの稲葉さんと同級生ということが強すぎて、先生との思い出が少しばよっとしています(笑)。

このような先生方、両親、兄弟、友人、上司、先輩、後輩、奥さん、子どもとの出会い

によって今の自分があると思っています。現在は滋賀の病院で理学療法士として働いており、今までの経験が今の自分の糧になっています。

今も家族とともに野木地区に住んでいます。少しでも野木地区に恩返しができると思います。子どもが大きくなると野木小学校にまたお世話になると思いますが、子どももこの野木地区でたくさんを経験し、大きく成長してもらえたら嬉しく思います。



## 会員からの便り

## 化石掘りの思い出

第84回(平成5年)卒

武生 桑原浩幸

私が野木小学校を卒業したのは平成五年(一九九三年)の三月ですので、ちょうど三十年が経ったことになります。その節目に寄稿の依頼を頂きましたので、少し小学校時代を振り返ってみたいと思います。

皆さんは小学校時代の思い出という何がいまい浮かぶでしょうか。日々の学校生活、登下校時での出来事。または運動会や遠足、自然教室、修学旅行などの行事でしょうか。

そんな中でも特に印象に残っているのは、奥本(島田)正樹先生に連れていかけてもらった化石掘りです。奥本先生には私の一つ年上の姉を



担任していただいたこともあり、とても良くしていただきました。姉が先生から頂いてきた化石を見た時、

本物だという驚きと興奮がありました。小学生にとつて化石は漫画やアニメの世界の物だというイメージがあったからでしょう。当然次の日には「僕にも下さい」とお願いしました。

ある時、奥本先生に近所の小学生数名と化石掘りに連れて行っていただきました。どこへ行ったのか場所は全く覚えていませんが、着いた所は海でした。先生に道具を借り、転がっている岩を割ると貝や植物の化石が出てきました。はつきりと覚えていませんが、割ると簡単に見つけることができましたように思います。僕たちを喜ばせるために、よく採れる所にわざわざ連れて行ってくれたのかもしれない。なかなか出てこないサメの歯らしきものが出てきた時が一番盛り上がりました。

きました。二年前に卒業した長女もそうだったと思います。その様子を見るたびに当時の事を思い出し、本当に貴重な体験をさせていだいたと感謝しております。

## 会員からの便り

色濃く残る、むかしむかしの  
小さな思い出

第82回(平成3年)卒

堤 中村好江

残っているもので、少し目を閉じただけでも様々なことが思い出されます。

なかでも一番の思い出はやはり長かった登下校でしょうか。今ではとても考えられないことですが、小さな足で片道四〜五十分ほどをかけて通学した記憶があります。朝の集団登校では上級生の先輩が怖くて怖くて(笑)、必死に六年生の歩幅に合わせて歩いたので

小学校を卒業してから、もうどのくらいの年月が過ぎたのか。いつの間にか自分が小さかった頃の親の年齢を通り越して、こうして野木小学校から同窓会報の原稿のご依頼を賜るような年齢になったことに、さらに驚いてしまいました。

こうして何十年とたった現在も、薄れていく記憶の中でも小学校時代の記憶というのは不思議と色濃く



早く学校に着きました。変な方向の友達と葉っぱや木の枝を集めたり、田んぼのあぜ道で遊びながら長い時間をかけて帰りました。帰りの道中はそれまで話したことのない友達とケンカをしたり、記憶に残るだけでも実に様々な出来事が思い起こされます。ちなみに下校の中で一番辛かったのは友達とのケンカもさることながら、なんといってもトイレに行きたくなった時でした(笑)。意識してしまおうともうそれしか考えられず、公民館や民家の方をお願いして友達と帰った記憶があります。

もちろん、学校生活の記憶も色濃く残っています。小学校一年生で担任だった左近先生にはじまり、出口先生、宮川先生、宮川先生の代替だった先生、松井先生にお世話になりました。低学年の頃は他者への思いやりや生き物の命の大切さ、

勉強や計算の大切さなどを教わった気がします(子ども頃は分かりませんが)。百マス計算などもゲームのようで大好きでした。中・高学年になってからは、やっていいことと悪いことの加減や線引き、勉強の大切さでしょうか。今の時代、叱ることや怒ることが難しい時代になっている気がしますが、当時の先生方はどの先生方も小さな私たちにも真剣に向き合ってくださっていました。例えば今自分が職場の上司として部下に同じように向き合えるかというところ、



昭和60年度 野木小学校入学記念 昭和60年4月1日

でのことが出来ない気がします。六年間の担任の先生方がどの先生方も愛情をもって接してくださったからこそ、私はそれなりの年齢になるまで大人を疑わないう子どもでいられた気がしています。

十五年ほど前でしょうか？一度、小学校時代の同窓会をしたことがあります。先生方にもご出席頂き、今思えば奇跡的な時間を過ごすことが出来ました。これを機に、また同窓会ができればいいと思います。

今回このように貴重な機会を賜り、同窓会報を取りまとめ下さっている関係者の皆様に心から感謝申し上げます。これから野木小学校を卒業する子どもたちのためにも、野木小学校のますますのご発展と本事業の継続を祈念してやみません。ありがとうございます。

## 新成人からの便り

### 一輪車の思い出

第107回(平成28年) 卒

杉山 竹村 侑己

私が野木小時代を振り返って一番はじめに思い出すのは小学四年生の時の体育大会です。当時の体育大会では、徒競走や綱引きなどの競技以外にも、生徒全体で一輪車を使った組体操がありました。

一輪車の組体操は毎年恒例のものだったらしく、多くの生徒は一年生の頃から一輪車の練習をしていて、うまく乗りこなしていました。しかし、自分は3年生の二期から福井市の小学校から転校してきて、それまで一輪車に挑戦する機会がなく、そもそも一輪車のようなバランス感覚を求められる乗り物が苦手であったため、うまく乗ることができませんでした。そうは

いっても、体育大会まで一輪車に乗れるようになりたかったので、休み時間や体育の時間などはもちろん、親に一輪車を買ってもらいたい家でも練習に励みました。一輪車は前に進むことより、一輪車に乗って動き始めることの方が難しく、体育大会直前では、手すりにつかまることかろうじて一輪車に乗ることができました。

ですが、組体操はグラウンドの中央で行うため近くにつかまれそうなものは何もありません。そこで本番では、当時六年生の二人の先輩が私の手を握りサポートをしてくれました。一輪車に乗る時に支えてくれたり、前に進むために引っ張つ



てくれたりなど技術的なサポートだけでなく、失敗して一輪車から落ちた際に「大丈夫だよ」「頑張ろう」と優しく声をかけてくれたことをよく覚えています。自分だけ一輪車に乗れないという後ろめたさを感じていた私にとってその言葉は本当に嬉しく、前向きな気持ちにさせてくれました。そのおかげで、無事に組体操を終えることができ、体育大会が終わった後も一輪車の練習を続け、五年生になる頃には一輪車に乗ることができるようになりました。

こうして振り返ると、一輪車は私の人生にとって初めての大きな挫折だったのだと思います。ですが、周りのサポートのおかげで諦めることなく挑戦し続けることができ、最終的に挫折を乗り越えることができました。野木小時代のこの体験があったからこそ、今も新しいことに対するチャレンジ精神を忘れずにいられます。

今年の冬には、新しくスノーボードに挑戦してみました。相変わらずバランス感覚は乏しくよくこけてばかりですが、少しずつできるようになっていく感覚はあの時の一輪車を思い出し懐かしい気持ちになります。



# いつも元気な野木っ子たちです



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生





# 六年生 独楽吟



▼たのしみは

こっそり向かう おじいちゃん家  
おいしい物を 探し出す時

荒木 翼 沙

▼たのしみは

山へ虫とり 夕方に  
クワガタ カブト 探し出す時

田中 玲 颯

▼たのしみは

ランドセル投げ ライン見て  
「コメント返信している時」

清水 碧 唯

▼たのしみは

冷蔵庫開け スイカゲット  
頭キーンと たねをとる時

塚本 萌 々

▼たのしみは

父とテレビで プロ野球  
すきな選手でもりあがる時

清水 泰 生

▼たのしみは

学校おわって みいちゃんの  
ふわふわさわり かわいがる時

内藤 朱 里

▼たのしみは

大谷みたいに ストライク  
ビュンビュン投げて うちこった時

鈴木 慶 吾

▼たのしみは

広場に集まり 友達と  
サッカーをして シュートした時

内藤 志 月

▼たのしみは

プールに入る 暑い日に  
ザボンと水に 飛びこんだ時

滝 翼

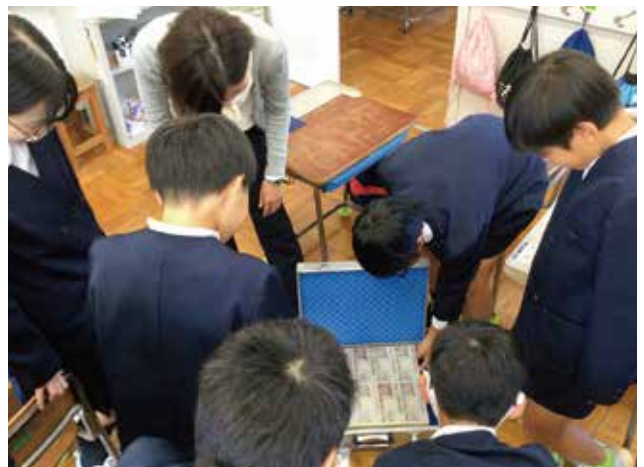
▼たのしみは

居間でコロコロ ユーチューブ  
ゲーム実況 一人で見ると

東山 晃 生



親子キャンプ



税金教室



# 今年度の野木小学校の活動

交通安全教室



春の遠足(写生)



入学式



夏の集会



プール清掃



体育大会



若狭町小学校陸上記録会



稲刈り



自然教室



若狭町小中学校音楽会



栃木県野木町との交流



いもほり





## ★★★ 6年生 思い出のシーン ★★★



修学旅行 (USJにて撮影)

## 編集後記

同窓会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年度の母校の様子や同窓会員の近況をお知らせする同窓会報三十四号が出来上がりましたので、お届けいたします。今年度は新型コロナウイルスの影響も少なくなり、行動制限のない一年となりました。原稿執筆をお願いした皆様方には、お忙しい中にもかかわらず、快くお引き受けいただきましてありがとうございます。今年度は中野木区の執筆者が見当たらず、上野木区、下野木区、武生区、堤区の掲載となりましたこと、お許しください。来年度からはローテーション等を見直し、持続可能な形にしていきたいと考えております。また、児童・教職員への負担軽減ということもあり、今年度から児童の作品は6年生のみとさせていただきますこと、ご理解ください。

末筆ながら、会員の皆様の益々のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

福井県三方上中郡若狭町武生十五一七一

野木小学校同窓会事務局

■ ホームページ <https://edu.town.wakasa.fukui.jp/nogi/>  
 ■ facebook [https://www.facebook.com/nogi.elementary/?ref=embed\\_page](https://www.facebook.com/nogi.elementary/?ref=embed_page)



★学校のウェブサイトで過去の会報や学校の近況をご覧になれます。(3月末に令和5年度会計報告掲載予定)  
<https://edu.town.wakasa.fukui.jp/nogi/>か「若狭野木小」で検索